

**(仮称) ちば自然保育認証制度創設に係る趣旨説明**

令和 4 年 8 月 2 3 日 (火)


千葉県健康福祉部子育て支援課

**1. なぜ自然保育なのか (背景)**

○ 幼児期は生涯にわたる人格形成の基礎をつくる重要な時期であり、子どもが自然に触れて生活することが子どもの成長にとって大きな意味を有している。

○ しかしながら、  
幼児期に自然に直接触れる機会が減少している

○ その一方で、  
子どもたちに自然に直接触れる機会をより多く持たせるため、自然を活用した保育、幼児教育を積極的に取り入れている施設、団体、保育者（保育士、幼稚園教諭等の資格の有無に関わらず、保育等に従事する者）が数多く存在している

 千葉県として  
千葉県の子どもたちに、より多くの自然に触れてほしい  
自然を活用した保育を実践している施設、団体を支援したい  
自然を活用した保育を行う施設、団体のすそ野を拡げたい

**2. 自然保育認証制度の目的 (要綱記載事項)**

千葉県の豊かな自然環境を活用した保育に積極的に取り組んでいる施設・団体を認証し、支援することにより

千葉県の豊かな自然に触れて感動する体験を通した子どもたちの健やかな育ちの実現を図る。

### 3. 自然保育（認証制度）の実施により期待できる効果

#### （1）子どもたちに関して期待できる効果

- ・ 豊かな感性が発達するとともに、想像力、知的好奇心、洞察力（物の本質を掴む能力（危険予知能力を含む））が育まれる
- ・ 心身の健康の保持と増進、体力の向上が図られる
- ・ 一人一人の可能性が広がる（木登りが得意、虫が好き、植物が好き など）
- ・ コミュニケーション能力が育まれる
- ・ 自己肯定感が育まれる
- ・ 季節の変化に気付く
- ・ 生命の尊さ、大切さに気付く

#### （2）保育者（保育現場）に関して期待できる効果

##### 〔すでに取り組んでいる施設・団体〕

- ・ 自園の取組みの素晴らしさを多くの人に知ってもらえる
- ・ 社会的な理解が進み、よりのびのび、自由に自然保育に取り組める
- ・ 研修会参加による安全管理能力のさらなる向上
- ・ 交流会での情報共有、意見交換による知見の拡大

##### 〔未実施の施設・団体〕

- ・ 自然保育への理解（全員がデンマークの森のようちえんを目指す必要はない。）
- ・ 自然保育への興味・関心を持ってもらう

#### （3）保護者（子育て世帯）に関して期待できる効果

- ・ 預け先の選択肢が増える（特化型、一般型、その他）
- ・ 家庭ではなかなか体験できないようなことに子どもがチャレンジできる

**(4) 千葉県（社会全体）に関して期待できる効果**

- ・ 自然保育に対する認知、理解、信頼性の向上
- ・ 移住・定住促進
- ・ 千葉県全体の魅力の向上

**4. 自然保育認証制度の基本理念として盛り込みたい事柄（要綱記載事項）**

- (1) 子どもの最善の利益
- (2) 千葉県の豊かな自然環境の保育等への有効活用
- (3) 保育活動の多様性の尊重
- (4) 安全性の確保
- (5) 持続可能な社会をつくるため、地球の環境保全につながる未来の担い手づくり  
(ESD：持続可能な社会をつくるための教育)
- (6) . . .
- (7) . . .